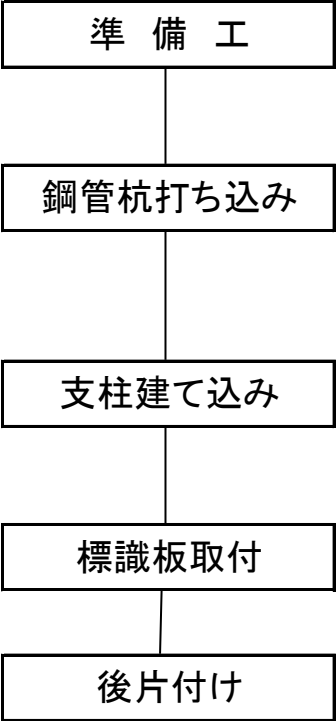


標識設置工の作業手順



内 容	留 意 事 項
作業内容の確認 作業人員の確認 保護具の点検 使用機械、資材、工具の点検 埋設物の試掘確認	指示書の内容確認 安全ミーティング日報による 作業別安全チェックシートの活用。 安全装置の確認 条数深さの確認し立ち会いを行う。
打ち込み機を設置する。 所定の位置にリーダーを設置し鋼管杭をセットする。 所定の高さまで打ち込む。	作業車の設置は、平坦な場所に必ず敷き板を使用し アウトリガーを成るべく一杯まで張り出す。 鋼管杭のセット時は、吊り荷の下に入らない。 有資格者による、機械作業を行う。 積載荷重の確認をする。 打ち込み作業時は、近づかない。
鋼管内を埋め戻し所定の高さに支柱を溶接する。 コンクリートを打設する。 法面を整形する。	支柱つり込み時は、吊り荷の下に入らない。 作業に合った保護具を使用する。 溶接等の火による火災防止をする。
所定の高さに標識板を設置する。	脚立からの転落防止をする。 安全帯の使用をする。
終礼の実施	安全ミーティング日報による

注意事項	安全帯を必ず使用する。 作業に合った保護具を使用する。 有資格者による、機械作業を行う。 規制内の車輛誘導は、必ず行う。 吊り荷の下に入らない。 移動前に積載物の落下防止対策を実施し、複数人で確認する。 車両を後退させる際は誘導員と打合せ実施後移動する。
------	---